

肝胆膵腫瘍の臨床病理学的な特性と治療の効果・安全性等に関する研究

作成日 令和2年8月26日 Ver.1.1

研究対象：

国立がん研究センター中央病院（国立がんセンター中央病院時含む）開院日以降、中央病院において肝胆膵腫瘍の診断、手術、内視鏡治療、化学療法、放射線療法、緩和ケアなどが実施された患者さんを対象とします。

研究の目的と概要：

本研究は、国立がん研究センター中央病院肝胆膵内科の肝胆膵腫瘍患者の肝胆膵内科データベースおよび診療録を用いて、臨床病理学的な特性及び当該疾患に対する治療の効果・安全性に関して適切な解析を実施することを目的とします。肝細胞がん、胆道がん、膵がんなどに代表される肝胆膵腫瘍に対する治療法は依然として改善の余地があり、国立がん研究センター中央病院肝胆膵内科の診療データを用いて適切な解析を実施することに意義があります。そのため、本研究では肝胆膵腫瘍患者を対象として、その臨床病理学的な特性と、治療の効果・安全性に関して検討します。

研究期間：

研究許可日から10年間です。

研究に用いる試料・情報の種類：

情報：病歴、治療歴、研究登録番号等を利用します。

試料・情報の公表：

試料・情報の公表は、集計されたデータ等のかたちで医学論文として発表予定です。

個人情報保護に関する配慮：

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されない方法で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用で別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者

さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科 奥坂拓志（研究責任者）

Fax 03-3545-3567/ Tel 03-3542-2511(代表)